

入院児童生徒等への教育保障体制整備事業
実施スケジュール(実績)【A学校】

(別紙2)

日時	取組内容			備考 学校・病院等連携支援員(コーディネーター)の活動・役割
	【ア】関係機関の連携体制の構築	【ウ】指導内容・評価等に関する取組	【エ】ICT機器等の有効な活用方法に関する取組	
平成30年 4月 5月	2日 県立中央病院各病棟、医療連携部訪問 16日 県院内学級担当者ネットワーク加盟校教育要覧掲載 18日 ケース会1開催 参加者:担当医、養護学校担任、相手校担任保護者 ①退院後の配慮点 ②相手校への伝達事項等の確認等 21日 ケース会2開催 参加者:担当医、養護学校担任、相手校担任保護者 ①退院後の配慮点 ②相手校への伝達事項等の確認等	9日 院内学級での入院生徒の状況調査 18日 ケース会1開催 ①相手校担任と学習進度、指導内容等の確認 21日 ケース会2開催 ①相手校担任と学習進度、指導内容等の確認		2日 県立中央病院各病棟、医療連携部訪問 ①事業説明、リーフレットの配布依頼 小児科を含め全科に依頼を拡大 9日 指導内容等に関する助言等 16日 指定校(青森若葉養)との打合せ 18日 ケース会1開催 学習支援ガイド配布・説明等 18日 支援員・県教育委員会の打合せ ①今年度の事業の進め方等 21日 ケース会2開催 学習支援ガイド配布・説明等
6月	11日 青森市教育委員会訪問 県教育委員会特別支援教育推進室長に同行 20日 地域中核病院訪問 21日 地域中核病院状況調査 ～ 29日	13日 院内学級での入院生徒の状況調査 28日 院内学級での入院生徒の状況調査	13日 院内学級での入院生徒の状況調査(特にICT機器活用可能性の調査) 15日 前籍校へ同時双方向型授業配信打診	11日 青森市教育委員会訪問 ①新指導課長へ事業経緯等説明・協力 15日 青森市教育研修センター訪問 ①研修会等でのリーフレット等配布依頼 13日 同時双方向型授業配信実施の提案・助言 20日 地域中核病院訪問 ①青森厚生病院地域医療連携室 ②鷹揚郷腎研究所青森病院ケースワーカー室 ③村上病院地域医療連携室 21日 地域中核病院の入院児童生徒状況調査 ～ 29日 28日 指導内容等に関する助言等
7月	5日 復学支援アンケート集約 9日 復学支援会議1開催 参加者:担当医、県教育委員会担当者、市教育委員会担当者前籍校関係者、青森若葉養護学校関係者 ①院内学級での状況 ②退院後の体調管理に関わる配慮事項等 26日 県特別支援教育研究会病弱虚弱教育部会研究大会開催	6日 院内学級での入院生徒の状況調査 9日 復学支援会議1開催 ①前籍校担任と学習進度、指導内容等の確認		5日 復学支援アンケート集約・分析・対応 6日 指導内容、配慮事項等に関する助言等 9日 復学支援会議1出席 ①退院後の心理面の配慮事項等に助言
8月	23日 復学支援アンケート集約 24日 復学支援資料の作成(小・中学校教員対象)			23日 復学支援アンケート集約・分析・対応 24日 復学支援資料の作成
9月	1日 復学支援資料の作成継続(小・中学校教員対象)	14日 院内学級での入院児童の状況調査 20日 院内学級での入院児童の状況調査 27日 院内学級での入院児童の状況調査		1日 復学支援資料の作成 14日 指導内容等に関する助言等 20日 指導内容等に関する助言等 27日 指導内容等に関する助言等
10月	1日 復学支援資料の作成継続(小・中学校教員対象) 9日 高校生の教育相談 16日 高校生の教育相談:両親が青森若葉養へ来 ①転学希望等に対する助言等 18日 ケース会3開催 参加者:担当医、養護学校担任、保護者、本人 ①退院後の配慮点 ②復学に向け、相手校への伝達事項等の確認等 25日 ケース会4開催 参加者:担当医、養護学校担任、保護者、本人 ①退院後の配慮点 ②復学に向け、相手校への伝達事項等の確認等 26日 ケース会4の結果報告・情報共有 参加者:養護学校担任、相手校担任・養護教諭	4日 院内学級での入院児童の状況調査 10日 院内学級での入院児童の状況調査 17日 院内学級での入院児童の状況調査 18日 ケース会3開催 資料を前籍校担任へ送付・電話による連絡等 25日 院内学級での入院児童の状況調査 26日 ケース会4の結果報告 養護学校担任が相手校を訪問し、ケース会の内容等報告、協議		1日 復学支援資料の作成 4日 自立活動等の指導内容等に関する助言 9日 高校生の教育相談への対応 ①通院先病院コーディネーターとの連携 ②在籍高校との連携 10日 指導内容等に関する助言等 16日 高校生の教育相談内容への助言等 17日 指導内容等に関する助言等 18日 ケース会3開催 ①前籍校との連携について助言等 ②復学支援内容について助言等 25日 ケース会4開催 ①相手校との連携について助言等 ②復学支援内容について助言等 26日 3指定校支援員連絡会 ①取組経過と今後の方向性等について協議
11月	1日 復学支援資料の作成継続(小・中学校教員対象) 5日 復学支援資料「学級の子どもが病気になったり入院したら」作成終了 ①青森若葉養護学校での活用開始 19日 ICT機器活用授業のための打合せ 20日 前籍校と同時双方向型授業配信の打合せ ①授業の流れ等の確認 26日 前籍校と同時双方向型授業配信の打合せ 27日 前籍校と同時双方向型授業配信の打合せ 28日 前籍校と同時双方向型授業配信の打合せ 29日 前籍校と同時双方向型授業配信の打合せ	1日 院内学級での入院児童の状況調査 6日 院内学級での入院児童の状況調査 16日 院内学級での入院児童の状況調査 20日 院内学級での入院児童の状況調査 ①前籍校と指導内容・方法等の打合せ 27日 同時双方向型授業配信の状況調査 28日 同時双方向型授業配信の状況調査	19日 ICT機器活用授業のための打合せ 20日 院内学級での入院児童の状況調査 ①同時双方向型授業配信開始 27日 ICT機器活用授業の状況調査 28日 ICT機器活用授業の状況調査	1日 復学支援資料の作成 5日 復学支援資料作成終了 6日 指導内容等に関する助言等 16日 指導内容等に関する助言等 19日 ICT機器活用に関する助言等 20日 指導内容・方法等に関する助言等 27日 ICT機器活用に関する助言等 28日 ICT機器活用に関する助言等

				30日 京都市立桃陽総合支援学校実践研究発表会参加
12月	<p>3日 前籍校と同時双方向型授業配信の打合せ</p> <p>4日 前籍校と同時双方向型授業配信の打合せ</p> <p>6日 前籍校と同時双方向型授業配信の打合せ</p> <p>10日 前籍校と同時双方向型授業配信の打合せ</p> <p>11日 前籍校と同時双方向型授業配信の打合せ</p> <p>12日 復学支援アンケート集約</p> <p>14日 前籍校と同時双方向型授業配信の打合せ</p> <p>25日 復学支援会議2開催 参加者:担当医、県教育委員会担当者、市教育委員会担当者、前籍校関係者、青森若葉養護学校関係者 ①院内学級での状況 ②退院後の体調管理に関わる配慮事項等</p> <p>26日 理解啓発研修会開催:津軽地域対象 講師:宮城教育大学 植木田潤 教授 演題:児童生徒の学びを支えるレジリエンス</p>	<p>4日 同時双方向型授業配信の状況調査</p> <p>14日 同時双方向型授業配信の状況調査</p> <p>25日 復学支援会議2開催 ①前籍校担任と学習進度、指導内容等の確認</p> <p>26日 理解啓発研修会開催 小中高教員、特別支援学校教員等</p>	<p>4日 ICT機器活用授業の状況調査</p> <p>14日 ICT機器活用授業の状況調査</p> <p>25日 復学支援会議2開催 ICT機器活用授業事例の紹介</p>	<p>4日 ICT機器活用に関する助言等</p> <p>12日 復学支援アンケート集約・分析・対応</p> <p>14日 ICT機器活用に関する助言等</p> <p>25日 復学支援会議2出席 ①会議資料(ICT活用事例を含む)作成のための助言等</p> <p>26日 理解啓発研修会開催 運営及び講師対応等</p>
平成31年 1月	<p>7日 理解啓発研修会開催:県南地域対象 講師:和歌山大学 武田鉄郎 教授 演題:病気の子どもに対する教育支援の現状と課題</p> <p>10日 青森県特別支援教育研究会病弱虚弱教育部会役員会・研修会</p> <p>21日 教育保障体制整備運営協議会開催 ①指定校での実践概要報告 ②今後の取組に関する協議</p>	<p>7日 理解啓発研修会開催 保健師、小中高教員、特別支援学校教員等</p> <p>21日 教育保障体制整備運営協議会開催 ①市教育委員会等教育関係者から指導方法等に関する評価と賛同</p>	<p>21日 教育保障体制整備運営協議会開催 ①ICT関連有識者から指導・助言</p>	<p>7日 理解啓発研修会出席 講師対応等</p> <p>10日 青特研病弱教育部会研修会出席 ①事業成果等の報告</p> <p>21日 教育保障体制整備運営協議会出席 ①指定校実践概要報告</p> <p>22日 事業のまとめ作成開始</p>
2月	<p>7日 復学支援アンケート集約</p>	<p>18日 院内学級での入院児童の状況調査</p> <p>22日 院内学級での入院児童の状況調査</p>	<p>12日 ICT機器活用に関する情報収集のための専門科訪問</p> <p>18日 院内学級での入院児童の状況調査</p> <p>22日 ICT機器活用授業の状況調査</p> <p>27日 ICT専門家招聘による研修</p>	<p>5日 事業のまとめ作成継続</p> <p>7日 復学支援アンケート集約・分析・対応</p> <p>12日 青森公立大神山教授訪問 (ICT関連情報の収集)</p> <p>14日 文科省主催連絡協議会出席</p> <p>15日 神奈川県事業成果報告会参加</p> <p>18日 指導内容・方法等に関する助言等 事業成果報告書作成終了</p> <p>22日 ICT機器活用に関する助言等</p> <p>22日 県教育委員会主催:支援員連絡会議</p>
3月	<p>4日 前籍校と同時双方向型授業配信の打合せ</p>	<p>6日 同時双方向型授業配信の状況調査</p> <p>11日 同時双方向型授業配信の状況調査</p> <p>14日 同時双方向型授業配信の状況調査</p> <p>18日 同時双方向型授業配信の状況調査</p> <p>20日 同時双方向型授業配信の状況調査</p>	<p>6日 同時双方向型授業配信の状況調査</p> <p>11日 同時双方向型授業配信の状況調査</p> <p>14日 同時双方向型授業配信の状況調査</p> <p>18日 同時双方向型授業配信の状況調査</p> <p>20日 同時双方向型授業配信の状況調査</p>	<p>6日 同時双方向型授業配信の状況調査</p> <p>11日 同時双方向型授業配信の状況調査</p> <p>14日 同時双方向型授業配信の状況調査</p> <p>18日 同時双方向型授業配信の状況調査</p> <p>20日 同時双方向型授業配信の状況調査</p>

入院児童生徒等への教育保障体制整備事業
実施スケジュール(実績)【B学校】

(別紙2)

日時	取組内容			備考 予校・病院連携支援員 (コーディネーター)の活動・役割
	【ア】関係機関の連携体制の構築	【ウ】指導内容・評価等に関する取組	【エ】ICT機器等の有効な活用方法に関する取組	
平成30年 4月	10日 私立高校1年生の教育相談 隣接病院の紹介と受診	10日 私立高校1年生の履修科目と本校の履修		
5月	18日 第1回学校・病院等連携支援員連絡会議開催 県教育委員会、県総合学校教育センター指導 主事、学校・病院等連携支援員 21日 中南・西北地区 中核病院への訪問計画立案 ～ 訪問依頼	10日 平川市立中学校2年生の本校転学に向けた 学習の状況等の情報交換	7日 高等部2年、不登校傾向の男子生徒に対し て、昨年度に引き続き、遠隔授業を実施。ICT 機器等を活用し、生徒自ら主体的に操作し学 習することによって、集中力が増し、意欲的に 取り組んでいる。1年間を通して計画的に実 施。	18日 第1回連絡会議に出席 21日 病院等訪問計画作成 ～ 電話による訪問依頼
6月	5日 弘前・黒石市内病院訪問、事業の紹介と協力 7日 大鰐・弘前・平川市内病院訪問 12日 弘前市内精神科病院訪問 14日 弘前市内病院訪問 19日 五所川原市内病院、院内学級訪問 短期入院への学習支援の協力依頼 26日 弘前市内病院訪問	19日 五所川原市立小学校院内学級での情報交換	2日 運動会において、学校と隣接病院ベッドサイド をつないで同時中継を実施。体育館の様子を ベッドサイドから応援することができた。 6日 学校行事等において、参加が難しい児童生徒 が同時中継により臨場感を持って体験するこ とができた。	5日 病院訪問 7日 病院訪問 12日 病院訪問 14日 病院訪問 19日 病院訪問 小学校院内学級訪問 26日 病院訪問
7月	2日 弘前市内病院、院内学級訪問 短期入院への学習支援の協力依頼 3日 弘前市内病院、院内学級訪問 短期入院への学習支援の協力依頼 4日 特別支援学校から短期入院に係る学習支援 の協力要請、受諾 5日 八戸市立中学校 3年生の教育相談 7日 大鰐町来年度就学予定児の教育相談 10日 県立高校 生徒の教育相談	2日 弘前市立小学校院内学級での情報交換 弘前市立中学校院内学級での情報交換 3日 弘前市立小学校院内学級での情報交換 弘前市立中学校院内学級での情報交換 4日 特別支援学校短期入院児童の情報交換	10日 モバイルプロジェクター、モニター、病気の理 解と教育支援に係る専門書購入計画作成・依 頼	2日 病院訪問 小・中学校訪問 3日 病院訪問 小・中学校訪問 10日 県立高校教頭と電話に よる情報交換
8月	23日 私立高校1年の「転学に係る教育支援会議」 私立高校:校長、教頭、学年主任、学級担任、 養護教諭 本校:教頭、学級担任、地域支援 部主任、学校・病院等連携支援員	23日 私立高校1年の教育支援会議において指導内 容、評価等について、情報提供	15日 モバイルプロジェクター、モニター、専門書購入	23日 教育支援会議に出席 31日 私立高校1年の復学に 関する活動内容を県教 育委員会に報告
9月	5日 市町村教育委員会と電話による情報交換	11日 本校在籍児童生徒の前期評価のまとめ	5日 購入物品の確認と紹介として、モバイルプロ ジェクター、モニター、専門書を院内学級担当 者へ情報提供した。	5日 理解啓発研修会の準 備
10月	17日 県立高校3年の教育相談 25日 平内町小学校5年の教育相談 隣接病院指導員 大鰐町教育委員会から来年度就学予定児の 情報提供	17日 県立高校3年生徒について 病状により登校困難な生徒の単位取得のため のICT機器活用の方法について情報交換 25日 平内町小学校5年児童の情報交換 隣接病院指導員	17日 ICT機器活用のための情報交換(県立高校に おいて) 県立高校:教頭2名 本校:ICT担当教員、学 校・病院等連携支援員 20日 本校文化祭において病室とつないで同時中継	17日 県立高校へ訪問 31日 理解啓発研修会の準 備
11月	6日 特別支援学校中学部3年の短期入院に係る 学習支援の協力要請、受諾 28日 五所川原市立小学校 院内学級1年保護者よ り教育相談	15日 特別支援学校中学部3年の指導内容等につ いて情報交換、学級担任	6日 高等部2年、男子生徒のICT活用に関する今 年度のまとめ作成	19日 理解啓発研修会の準 備
12月	4日 五所川原市立小学校院内学級1年保護者より 第2回教育相談 五所川原市教育委員会、県教育委員会に情 報提供 26日 理解啓発研修会開催(県総合学校教育セン ターにて) 講演「児童生徒の学びを支えるレジリンス ～不安や不満に負けない力を育てる～」 講師:宮城教育大学 教授 植木田 潤 氏	4日 五所川原市立小学校院内学級1年の学習状 況等情報交換	26日 理解啓発研修会においてICT機器活用の実際 を紹介した。	11日 研修会参加者最終調 整 26日 理解啓発研修会出席 を紹介した。
2019年	10日 青森県特別支援教育研究会病弱虚弱教育部 会役員会及び研修会出席 1月 21日 第1回教育保障体制整備運営協議会 開催 22日 県立高校3年の情報交換 23日 五所川原市立小学校院内学級1年の情報交 換 2月 7日 五所川原市立C小学校院内学級1年の本校転 学に向けた学習状況等情報交換 22日 第2回学校・病院等連携支援員連絡会議開催 成果報告書、次年度以降の取組を確認 県教育委員会担当指導主事、学校・病院等連 携支援員 3月 15日 本校児童生徒の年度末評価のまとめ	21日 運営協議会の場で私立高校と県立高校の事 例を報告	21日 運営協議会の場で本校高等部2年のICTを活 用した事例を報告	10日 青特研病弱部会役員 会出席、院内学級担当 者と情報交換 21日 運営協議会出席 実践概要報告 22日 県立高校と情報交換 23日 五所川原市立小学校 院内学級担任と情報交 換 7日 五所川原市立小学校 院内学級訪問 12日 事業報告書を提出 22日 第2回連絡会議出席

入院児童生徒等への教育保障体制整備事業
実施スケジュール(実績)【C学校】

(別紙2)

日時	取組内容			備考 学校・病院連携支援員(コーディネーター)の活動・役割
	【ア】関係機関の連携体制の構築	【イ】入院高校生の支援に係る関係機関の連携体制の構築	【エ】ICT機器等の有効な活用方法に関する取組	
平成30年 4月		11日 他県立高校生徒が青森県立はまなす医療療育センターに入所 17日 本校教頭、高等部主任と高校担任、センター職員との打合せ 26日 高等部主任と高校担任との調整		27日 勤務開始
5月	25日 青森県立はまなす医療療育センター訪問・事業概要説明		25日 ICT機器の活用の情報提供	18日 学校・病院等連携支援員連絡会議出席 25日 事業概要の説明
6月	22日 第1回八戸市特別支援教育研究会病弱虚弱教育研究部会研修会へ参加 28日 三沢市内の院内学級設置校及び三沢市立三沢病院 訪問・事業説明	5日 授業交流終了高校担任との打合せ 7日 センター退所 28日 センター退所カンファレンス(医師、看護師、保育士、訓練士、担任、コーディネーター)	22日 ICT機器の活用の情報提供 28日 ICT機器の活用の情報提供	22日 八戸市内の院内学級の運営状況及び現状と課題の情報共有 27日 指定校内における事業概要の説明 28日 事業概要の説明、運営状況、指導体制、課題等の情報収集 センター退所カンファレンス同席
7月	13日 十和田市内の院内学級設置校及び十和田市立十和田中央病院訪問・事業説明 17日 八戸市内の院内学級設置校及び八戸赤十字病院訪問・事業説明 18日 八戸市内の院内学級設置校及び八戸市立市民病院訪問・事業説明 19日 八戸市内の院内学級設置校及び青森労災病院訪問・事業説明 27日 青森県特別支援教育研究会病弱虚弱教育部会研究大会出席		13日 ICT機器の活用の情報提供 17日 ICT機器の活用の情報提供 18日 ICT機器の活用の情報提供 19日 ICT機器の活用の情報提供	13日 事業概要の説明、運営状況、指導体制、課題等の情報収集 17日 事業概要の説明、運営状況、指導体制、課題等の情報収集 18日 事業概要の説明、運営状況、指導体制、課題等の情報収集 19日 事業概要の説明、運営状況、指導体制、課題等の情報収集 27日 青森県特別支援教育研究会病弱虚弱教育部会研究大会出席
9月	12日 八戸市内の肢体不自由特別支援学級訪問・事業説明 28日 階上町内の肢体不自由特別支援学級訪問・事業説明		10日 本校生徒及びと保護者との入院前の打合せ 12日 ICT機器の活用の情報提供 25日 ICT機器を活用した学校・病院間支援開始 28日 ICT機器の活用の情報提供	12日 事業概要の説明、運営状況、指導体制、課題等の情報収集 28日 事業概要の説明、運営状況、指導体制、課題等の情報収集
10月	4日 八戸市内の肢体不自由特別支援学級訪問・事業説明 12日 八戸市内の肢体不自由特別支援学級訪問・事業説明 19日 医療機関訪問(湊病院)		4日 ICT機器の活用の情報提供 12日 ICT機器の活用の情報提供 19日 ICT機器の活用の情報提供	4日 事業概要の説明、運営状況、指導体制、課題等の情報収集 12日 事業概要の説明、運営状況、指導体制、課題等の情報収集 19日 事業概要の説明、運営状況、指導体制、課題等の情報収集 25日 学校・病院等連携支援員連絡会議出席
11月			16日 本校生徒病院退院 ICT機器を活用した学校・病院間支援終了 28日 入院中のICT機器の活用状況に関する情報収集	
12月	26日 理解啓発研修会開催 講師:宮城教育大学教授 植木田潤氏 演題:児童生徒の学びを支えるレジリエンス～不安や不満に負けない力を育てる～			26日 理解啓発研修会出席
2019年 1月	7日 理解啓発研修会開催 講師:和歌山大学教授 武田鉄郎氏 演題:病気の子どもに対する教育支援の現状と課題 10日 青森県特別支援教育研究会病弱虚弱教育部会役員会及び研修会出席 29日 第1回教育保障体制整備運営協議会開催 指定校(3校)における実践概要報告 事業の成果と課題 今後の事業の取組に係る事項			7日 理解啓発研修会出席 10日 青森県特別支援教育研究会病弱虚弱教育部会役員会及び研修会出席 29日 第1回教育保障体制整備運営協議会出席実践概要報告
2月				
3月				19日 指定校内における実践概要報告